



防衛医大病院広報誌 第20号 2026年5月発行
企画・編集 防衛医科大学校病院 患者支援センター
発行責任者 塩谷 彰浩
住 所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
T E L 04-2995-1511 (代表)



まもる

防衛医大【護】通信

2026年度はじめのご挨拶 病院長 塩谷 彰浩

新年度を迎えるにあたり、皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

日頃より当院の診療・教育・研究活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、地域の医療機関の皆様をはじめ、多くの関係者の方々との連携のもと、当院の使命を果たし続けることができいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年度末から今年度初めにかけて実施いたしました電算機システム（電子カルテ）の換装において、当初の計画に遅延が生じ、やむを得ず一部診療を休止せざるを得ない状況となりました。受診を予定されていた患者さんならびにご家族の皆様、また地域医療機関の皆様には、多大なるご不便とご迷惑をおかけしましたことを、病院を代表して深くお詫び申し上げます。

今回の事態を厳粛に受け止め、今後は同様の事態を招くことのないよう、再発防止策の徹底を図り、より安全で安定した医療提供体制の構築に努めてまいります。

新たに導入された電子カルテシステムは、診療の質と医療安全のさらなる向上に寄与するものと期待しております。職員一同がこれを十分に活用し、患者さん中心の医療を一層推進してまいります。

大学病院としての当院は、高度で安全な医療の提供、自衛隊医官や看護官、看護技官の育成、そして医学・医療の発展に寄与する研究の推進という三つの柱を担っております。本年度も、地域の医療機関の皆様との連携を一層深めると共に、地域社会から信頼され、選ばれる病院であり続けるために、職員一同力を合わせて邁進してまいります。引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年度のご挨拶とさせていただきます。

教授就任挨拶 ① 皮膚科 教授 端本 宇志

本年4月に防衛医科大学校皮膚科学講座の教授を拝命いたしました端本宇志（はしもとたかし）です。2004年に医学部を卒業後、東京医科歯科大学病院や埼玉県（春日部秀和病院）、茨城県（土浦協同病院、取手協同病院）、神奈川県（横浜市立みなと赤十字病院）の地域基幹病院を経て、2012年に防衛医科大学校に助教として着任しました。その後、米国マイアミ大学皮膚科かゆみセンターでかゆみ研究に従事し、2020年に防衛医科大学校に帰任して現在に至ります。



防衛医科大学校病院皮膚科では小児からご高齢の方まで、良性で命に関わらないものから集学的治療が必要な悪性腫瘍まで、幅広く診察をしております。とくに、難治なかゆみの診療や、アレルギー学会指導医や専門医が複数在籍しており、成人例が主ですが、アレルギー性皮膚疾患の診療を得意としています。また、防衛医科大学校病院が属する埼玉県西部医療圏（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）では皮膚疾患患者の入院応需可能な施設は多くはありません。そこで、難病指定を受ける皮膚疾患症例や緊急治療が必要な皮膚疾患症例も多数診察しています。

地域の先生方におかれましては、急性期あるいは大学病院での検査・治療が必要な患者さんをご紹介いただいた際には、精査・治療をしっかりとさせていただきます（美容皮膚診療はしていません）。埼玉県内には専門分野がことなる複数の大学病院皮膚科があり、得意分野に応じて様々に連携をとることも可能です。もちろん、病状が安定した後の継続診療は地域の先生方と可能な限り一緒に拝見して、患者さんにとって持続可能かつ最適な医療を受けられるよう、講座一同で力を尽くして参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

教授就任挨拶 ② 検査部 教授 緒方 衝

このたび、防衛医大病院の検査部長に就任しました緒方 衝（おがた しょう）と申します。寄稿の機会を与えていただきましたので、病院検査部の紹介をさせていただきます。

私ども病院検査部は、開院以来、臨床病理学（clinical pathology）に基づく検査の実践を運営の基本方針として、病理検査（anatomical pathology）と臨床検査（laboratory medicine）を行っています。

病院診療を支える重要な部署であり、ここを介する病理検査、臨床検査の結果は診療・治療に影響するため、常に信頼される精確なものでなければなりません。そのためには、ひとつひとつの検査方法を文書化するとともに、検査値採取から検査結果報告までのプロセスを厳しく管理し、常にその結果報告の推移を注視する必要があります。また、検査機器だけでなく、検査に携わる人員（医師、検査技師等）の力量評価、継続的な教育、そして、安全管理等にも気を配る必要があります。これら多岐にわたる管理や技術維持・向上を国際的な観点から審査・保証するものに、「ISO 15189」という国際認証があり、私どもは令和4年3月にその国際認証を取得し、継続して維持しております。臨床検査には、臨床検査専門医の資格を持つ医師が精度管理等に従事するだけでなく、循環器内科や消化器内科等の医師が検査結果報告に関与しています。また病理検査（診断）には、複数の病理専門医を配置し、臨床各科とのカンファレンスも行っています。この規模の病院として検査技師数は少ないのですが、このような環境のなか、学会発表や論文作成、また医学生等の教育にも関与しております。

かと申しましても、膨大な量の検査項目があり、そのすべてを当院でできるということはもちろんございません。当院で施行していない検査やマンパワー不足で対応できない検査を近隣の病院様にお願いすることも多々あると思っておりますが、なにとぞご協力のほど、お願い申し上げます。

市民公開講座を 2/4（水）に開催しました 2テーマで開催しました

①病院薬剤師のしごとと薬の落とし穴

～サプリ・漢方・市販薬との正しい付き合い方～

薬剤部 薬剤師 四釜亮太 先生

市販薬には、名前が違うのに中身が同じことがあったり、名前は似ているが中身が違うことがあったりするため成分を確認することが大切です。また、入院する際には必ず、漢方薬、サプリメントなど服用しているものを必ず伝えるようにしましょうと、特に血液サラサラ（医療用語ではない）のお薬の服用は必ず伝えることなど、薬の安全対策について丁寧にご講義していただきました。入退院支援センターでも服薬確認等の対応をいただいていることも説明いただき、薬剤師さんとの連携を強化していきます。



②働く女性を支援する

～月経困難症、月経前症候群、更年期障害への対処～

産婦人科 医師 濱田佳伸 先生

この講義は、女性の方のみが参加され、女性の方はこのような悩みを抱えている方もおり関心が高かったようです。臨床試験の結果では、30・40代の女性にはつらい思いや悩みを抱えている女性が一定数いるということがわかりました。そのような意味では、当該講義を開催でき良かったと思います。参加者からは具体的な悩みや質問もあり、濱田先生が丁寧に説明、対応いただきました。



がんサロン【とことこ歩む会】を開催しました

令和8年1月21日（水）13時半～15時にがんサロン【とことこ歩む会】を開催しました。当日は9名（男性4名、女性5名）が参加されました。後半では当院開催では初めての男女別グループに分けてお話をする時間を設定させていただきました。異性には話しづらいことも同性の中では少し気軽にお話できたように思います。埼玉県のパイサポーターの方2名にも参加して頂きました。



*がんサロンは、患者さんやその後家族が気軽に交流できる場です。ご自身の体験や他の方のお話を聞かせてもらい患者さん自身や御家族の支え合いの場になることを目的に開催しています。

参加は、当院に通院または入院されている患者さんとその御家族です。がんの種類は現在のところ限定していません。年に数回開催予定です。

令和8年度 防衛医科大学校病院の理念・基本方針

病院理念

高度で安全な医療を提供しつつ地域医療並びに自衛隊の医療・衛生活動に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成する。

基本方針

- 1 患者さんの視点に立った、安全良質な医療を提供する
- 2 地域医療機関と密に連携し、地域に貢献する
- 3 高度で先進的な医療を提供する
- 4 地域の中核病院として救急医療を実践する
- 5 新興感染症に対して敏速に対応できる体制を整備える
- 6 災害対処能力の向上に努める
- 7 自らの使命を自覚し、豊かな人間性と高い倫理観を備え、自衛隊の多様な任務にも対応しうる医官・看護官等を育成する

【初診予約についてお願い】

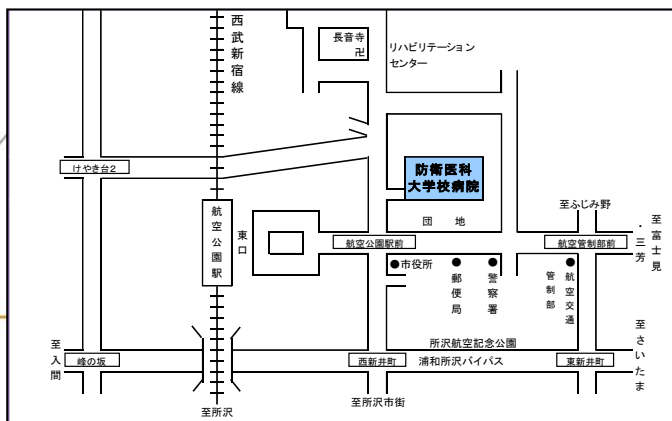
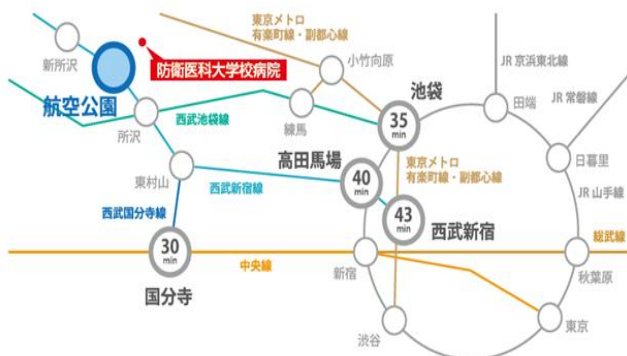
※右のQRコードを読み取り「初診予約受付のご案内」を参照ください。



当院の精神科、感染症・呼吸器内科、脳神経内科、膠原病内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、泌尿器科(泌尿器科一般・尿路腫瘍)、泌尿器科特殊外来【尿道狭窄症・尿失禁(男性)】、消化器内科外来の初診外来は完全紹介予約制とさせていただきます。

上記診療科初診希望の患者さんを紹介頂く場合は、医療機関の皆様から当院地域医療連携センターへFAXにて初診予約をお願い致します。患者さんからの予約は受付しておりません。

アクセス(交通のご案内)



●電車でお越しの方

西武新宿線『航空公園駅』下車徒歩5分

●車でお越しの方

浦和所沢バイパス「西新井町」交差点を右折し約600m



地域医療連携センター

初診予約、緊急入院・受診、
セカンドオピニオン、
病状照会等
内線3043. 3882

入退院支援センター

入院前説明
入院案内等
内線 3881

患者支援センター・ がん相談支援センター

転院・退院調整、在宅調整、
がん・脳卒中・福祉相談等
内線6123～6126